

日本スポーツマスターズ 2013

競 泳 競 技

◇主 旨

21世紀のスポーツ振興を図るにあたっては、幼児から高齢者までが生涯を通じて自己の能力、志向等に応じて、豊かにスポーツを享受することのできる環境を醸成していくことが重要である。

本大会はスポーツ愛好者の中で、競技志向の高いシニア世代のシンボリックなスポーツ祭典として、参加者がお互いに競い合いながらスポーツに親しむことにより、生涯スポーツのより一層の普及・振興を図り、併せて、生きがいのある社会の形成と、健全な心身の維持・向上に寄与しようとするものである。

◇主催 (公財)日本体育協会・北九州市・(公財)北九州市体育協会・(公財)日本水泳連盟

◇共催 福岡県・(公財)福岡県体育協会

◇主管 福岡県水泳連盟・北九州市水泳協会

◇公認 (一社)日本マスターズ水泳協会

◇期日 平成25年9月7日(土)・8日(日)

◇会場 北九州市文化記念プール(福岡県北九州市小倉南区田原5-1-2)

◇競技方法

(1) 全て、男女別、年齢区分別のタイムレース決勝とする。

(2) (公財)日本水泳連盟競泳競技規則による。

◇種目・年齢区分・競技順序・参加人員・リレー種目

(1) 競技種目

自由形	50m	100m	背泳ぎ	50m	100m
平泳ぎ	50m	100m	バタフライ	50m	100m
個人メドレー	200m		フリーリレー	200m	
			メドレーリレー	200m	

※男子、女子および年齢別共に同一種目とする。

(2) 年齢区分(男女共通)

① 個人種目(個人の暦年齢)

- 1部(30歳～34歳)
- 2部(35歳～39歳)
- 3部(40歳～44歳)
- 4部(45歳～49歳)
- 5部(50歳～54歳)
- 6部(55歳～59歳)
- 7部(60歳～64歳)
- 8部(65歳～69歳)

② リレー種目(泳者4名の暦年齢の合計)

- 120歳の部(120歳～159歳)
 - 160歳の部(160歳～199歳)
 - 200歳の部(200歳～239歳)
 - 240歳の部(240歳～276歳)
- ※リレーも69歳までとする

(3) 競技順序(男・女 1・2・3・4・5・6・7・8部の順)

第1日目(タイム決勝)

- 1 男・女 200m個人メドレー
- 2 男・女 100m自由形
- 3 男・女 100m平泳ぎ
- 4 男・女 100mバタフライ
- 5 男・女 100m背泳ぎ
- 6 男・女 200mリレー

第2日目(タイム決勝)

- 1 女・男 50m背泳ぎ
- 2 女・男 50mバタフライ
- 3 女・男 50m平泳ぎ
- 4 女・男 50m自由形
- 5 女・男 200mメドレーリレー

(4) 参加人員

各都道府県からの代表選手数は当面制限しない。なお、個人の参加種目は1人3種目までとする(リレーは除く)。但し、監督(選手を兼務することができる)は1名とする。

(5) リレー種目

- ① リレー種目は、泳者4名の暦年齢の合計とする。なお、リレー種目への参加は69歳までとする。
- ② リレー種目出場者は、同一リレー種目に二つ以上の年齢区分から出場できない。
- ③ リレー種目は都道府県1チームのみとする。なお、これ以外はオープン参加とする。

◇申込規定

(1) 参加資格、年齢基準及び所属都道府県

選手は、(公財)日本水泳連盟(平成25年度)又は、(一社)日本マスターズ水泳協会登録完了者(平成25年)で、下記に該当すること。

- ① 年齢基準は平成25年12月31日現在とする。
- ② 所属する都道府県に在住又は在勤の者。
- ③ 第68回国民体育大会水泳競技会に選手として参加する者は、本大会に選手として参加することはできない。

※監督については、公認水泳コーチ・公認水泳上級コーチ、公認水泳教師・公認水泳上級教師、公認水泳指導員・公認水泳上級指導員の資格を有する者とする。(指導者資格は、(公財)日本体育協会公認資格とする)

(2) 参加料 一人 5,000円(監督専任者を除く)

参加者の旅費、宿泊費、参加料は自己負担とする。一度納入された参加料は返金しない。また、地震・風水害等により大会を中止した場合、旅費・宿泊費の補償はしない。

(3) 申込方法

- ① 参加希望者は、所定の参加申込書用紙に必要事項を記入し、都道府県水泳連盟(協会)に申込む。
- ② 都道府県水泳連盟(協会)は、参加資格、参加人員の規定に合わせ、選手を選出の上、(公財)日本体育協会の「参加登録用紙」と(公財)日本水泳連盟Webエントリーから出力される「競技会申込書明細表」と「競技会申込(エントリーTIME)データ一覧表」を3部作成し、平成25年7月10日(水)必着にて、1部を所属都道府県体育協会に、2部を(公財)日本水泳連盟に提出する。なお、参加料は都道府県水泳連盟(協会)が取りまとめて、(公財)日本水泳連盟指定口座へ振り込み、振込受領証コピーを(公財)日本水泳連盟に提出する。
- ③ (公財)日本水泳連盟は、2部の参加申込書のうち1部を、平成25年7月17日(水)までに、(公財)日本体育協会へ送付する。
- ④ 参加申込後に選手を交代する場合には、所定の様式により上記①、②の参加申込を同様の要領にて届けなければならない。

(4) その他

(一社)日本マスターズ水泳協会の定めるマスターズ記録の公認は、平成25年の(一社)日本マスターズ水泳協会の登録完了者に限る。なお、記録公認を希望する者は、大会終了後、「記録公認申請書」に必要事項を記入し、(一社)日本マスターズ水泳協会へ申請すること。ただし、記録の公認は個人種目のみとする。

◇水着等の制限

(1) 競泳水着はFINAの公認した水着を着用すること。水着は1枚のみとし、水着の重ね着は禁止する。また、テーピングや2次加工は禁止する。

(2) 選手や役員が宣伝・広告の媒体とならないようにアリーナ内で着用・持ち込みする物を制限(水着・バッグ・シャツ等のマーク)している。

※水着規定の詳細は、(公財)日本水泳連盟のホームページ「選手・コーチの皆さんへ：大切な事ですから読んで守ってください」の内容をよく読むこと。

◇表彰・得点

(1) 各種目の年齢区分ごとに、第1位から第3位までの者に、それぞれ記念品を第1位から第8位までの者に、それぞれ賞状を授与する。なお、表彰(賞状等)は各都道府県上位2名までとする。

(2) 男女総合成績上位の都道府県を表彰する。

- ① 個人種目、リレー種目ともに1位8点、2位7点とし、同タイムの場合は、同順位同得点とする。
- ② 合計得点は個人種目上位2名とリレー種目1チームの合計得点とする。
- ③ 合計得点が同得点の場合は、次のとおりとする。
 - ・リレー得点の多い方
 - ・入賞者数の多い方（リレー種目は4と計算する）
 - ・1位の数の多い方
 - ・以下8位までこれにならう

(3) 本大会へ10年連続出場者に記念品等を贈る。

- ① 対象者は、(公財)日本水泳連盟「日本スポーツマスターズ水泳大会10年連続出場者申請書（平成25年度）」様式に記入する。
- ② 本大会監督者は、申請者の資格等確認の上、7月10日（水）までに(公財)日本水泳連盟生涯スポーツ「日本スポーツマスターズ水泳大会北九州2013」係に届けること。

◇会 議

(1) 資格審査・プログラム編成

日 時／平成25年7月12日（金） 午後1時～
会 場／(公財)日本体育協会 101会議室
〒150-8050 渋谷区神南1-1-1 岸記念体育会館1階
TEL 03-3481-2215

(2) 監督者会議

日 時／平成25年9月6日（金） 午後3時～
会 場／福岡県北九州市文化記念プール（会議室）
〒800-0225 福岡県北九州市小倉南区田原5-1-2
TEL 093-473-9230

◇大会情報

競技日程、組合せ等の確認は、(公財)日本水泳連盟のホームページに掲載する。